

旭川市立大有小学校 令和6年度 学校経営グランドデザイン

学校の教育目標

かしこく なかよく たくましく

目指す学校の姿

- 〈た〉 楽しく笑顔で
学び合える学校⇒子供
- 〈い〉 一体感と働きがいのある学校⇒教職員
- 〈ゆ〉 夢の基礎を築き、
信頼される学校⇒保護者
- 〈う〉 うるおいがあり安全で
安心に満ちた学校⇒環境

小学校学習指導要領 前文

一人一人の児童が、**自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。**

目指す教師の姿

- 認め、励まし、指導し、
確かな学力をつける教師
- 心の変化や問題を見逃さず、
素速く対応できる教師
- 善悪の判断や生き方を語り、
豊かな心を育てる教師
- 連携し、願いや期待に応え、
信頼される教師
- 研究・研修の大切さを知り、
ともに学び続ける教師

ウェルビーイングの向上

育成を目指す資質・能力

主体的・対話的に学び 学びを深める子供

- 各教科等で習得する基礎的・基本的な知識及び技能
- 見方や考え方を使って課題の解決の方法を考え表現する力
- 持続可能な社会づくりに向かう態度等

自分を認め 他者を尊重し 協働する子供

- 自己肯定感や多様性の理解、道徳的諸価値についての理解
- 自己の生き方についての考えをもち行動する力
- 多様性を尊重する態度やお互いのよさを生かして協働する力等

健やかな心身で 前向きに挑戦する子供

- 健康や体力向上、日常の安全な生活に必要な知識及び技能
- 健康や体力向上、日常の安全な生活などの自分の課題の解決に向けて考える力
- 新しいことや困難なことにも挑戦する態度等

自己肯定感 思いやりの心 多様性の理解 協働性 チャレンジする行動力

【大有小の合い言葉】

心が元気 体が元気 頭が元気

みんな笑顔で さあやろう！

令和6年度の重点教育目標

大有っ子が主役になる令和の学校づくり

～持続可能な社会の創り手を育成するカリキュラム・マネジメント～

学校生活の主役である大有っ子の姿

- ・「そろえる10」（学習のきまり）を進んで実践している
- ・自分の学習課題を設定し、自分なりの方法で課題解決に取り組んでいる
- ・タブレット等を活用して、友達の考えを参考にしながら、自分の考えを発表したり説明したりしている
- ・話し合う活動で考えを深め広げている
- ・自分で計画を立てて学習している
- ・できないことにも他の方法を工夫して取り組む
- ・分からなかったことが分かってうれしいと思っただことがある

- ・「そろえる10」（生活のきまり）を進んで実践している
- ・自分にはよいところがある
- ・将来の夢や目標をもっている
- ・互いの意見のよさを生かして友達と協力したり、自分でアイデアを出したりしながら、学校行事や係活動の課題を見出し、解決しようとしている
- ・進んであいさつをすることができる
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う
- ・みんなのために役に立ちたいと思う

- ・基本的な生活習慣を意識して健康に気を付けて生活している
- ・自分の体力向上について課題を見出し、課題解決に進んで取り組んでいる
- ・日常の安全な生活の実現に向けて、課題を見出し解決しようとしている
- ・体を動かすことが好き
- ・体育の授業が楽しい
- ・給食が好き
- ・失敗を恐れなくて進んで挑戦している
- ・最後までやり遂げてうれしかったことがある

【 経営の8つの重点 】

- 「旭川市いじめ防止条例」や「旭川市いじめ防止基本方針」に基づく、いじめの未然防止や早期発見、組織的対応など旭川市の取組の着実な実施
- キャリアステージに応じ教職員の主体的な学びや協働的な学びを促進する新たな「教員研修制度」の取組
- 「大有アクションプラン」に基づきICTを活用しながら教育効果の最大化を図る働き方改革の推進
- ICTを活用し全ての子供たちの可能性を引き出す令和の日本型学校教育の推進（児童が主体となる授業改革）
- 「社会に開かれた教育課程」を実現するカリキュラム・マネジメントの充実
- 「学校力向上に関する総合実践事業」の成果を生かした協働的な学校運営の推進
- 教育課題の解決に向けたマネジメントを効果的に推進する校内組織の改善
- 学校運営協議会や地域学校協働活動など家庭や地域と共に進める開かれた学校経営の推進

大有っ子が主役の学校を実現する取組の具体

大有っ子が主役の学校づくりを実現する カリキュラム・マネジメント

- ①自立した学習者を育む授業改革の推進**
・ICTを駆使した、子供が課題や解決の方法を自ら選択する子供が主語となる学び
- ②子供自ら課題を見出し解決する教育活動の推進**
・ICTを駆使して、互いのよさや可能性を發揮しながら、子供自身が集団や自分の課題を見出し、解決する学校生活・学校行事
- ③社会や地域に目を向けたSDGs・ESGの推進**
・総合的な学習の時間と特別活動を中核とした、SDGs・ESDの理念につながる単元の開発と教育課程への位置付け

【 指導の8つの重点 】

- いじめの未然防止に向け、児童が主体的によりよい人間関係を築くことができる生徒指導の充実
- 持続可能な社会を担う意識を育むSDGs・ESDの理念を実践する教育活動の推進
- ICTを活用し個別最適な学びと協働的な学びを実現する児童主体の学習指導の推進
- 一人一人の特性や教育的ニーズに応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的に行う特別支援教育の充実
- カリキュラム・マネジメントを機能させ、教科横断的な資質・能力を育む総合的な学習の時間の充実
- 児童相互の関わりを深め、集団活動を通して自己肯定感や社会性を育む特別活動の充実
- 自分のよさに気づき、夢や目標を育むキャリア教育の充実
- 生命を尊重し、健康で安全に生活しようとする心身を育む人権教育及び健康・安全指導の充実

大有っ子が主役の学校づくりの基盤となる学校教育DX

質の高い教育を実現する学校教育DXの推進

- ①校務DXによる働き方改革**
・クラウドツールの積極的な活用による、コミュニケーションの迅速化・活性化（即時共有・共同編集）
・働き方の選択肢を増やし、安全かつ働きやすい環境の実現
・クラウド環境を活用した業務フローの見直し
・校務系データと学習系データの連携による教育の高度化
- ②情報教育の充実**
・情報活用能力の育成
・ICT活用指導力の育成
・情報モラル教育の充実
・情報セキュリティポリシーの徹底